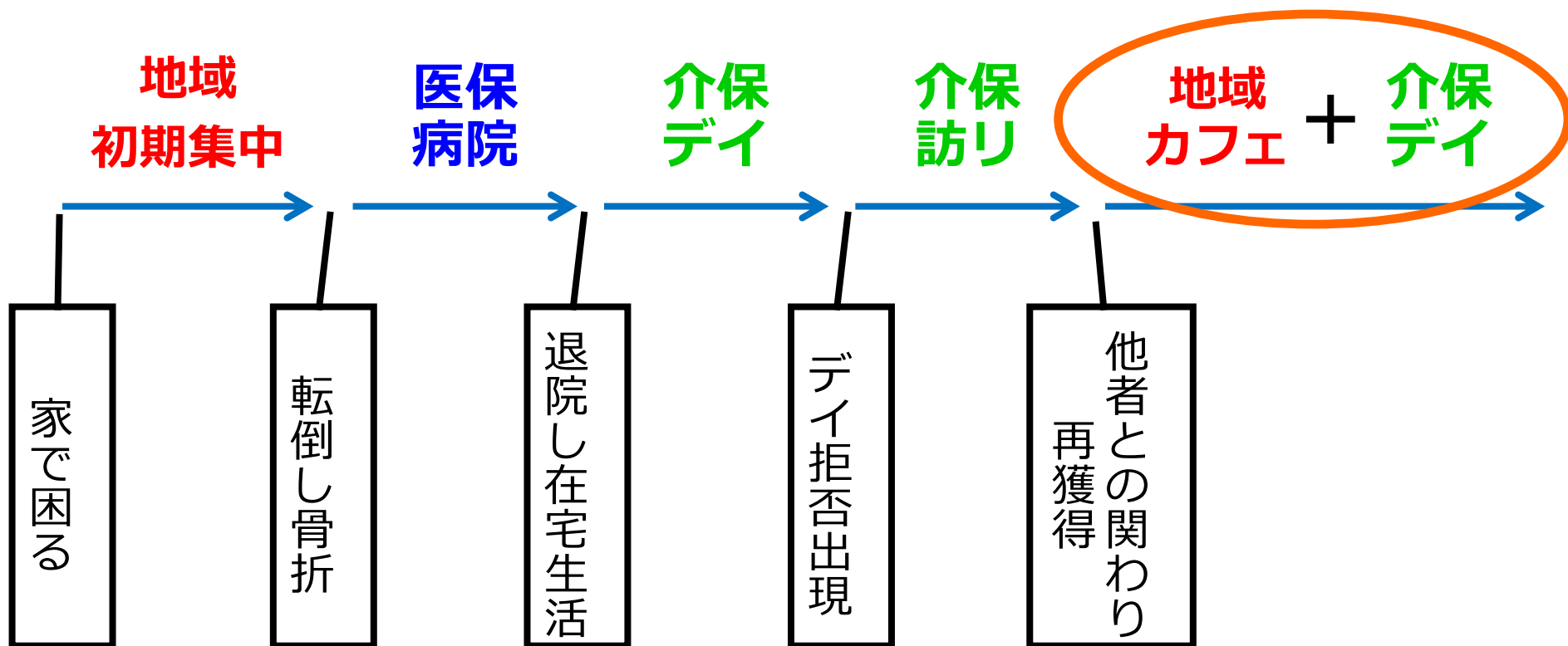


経過

状態の変化に合わせ、様々なサービスが介入する。



社会参加～DSへの復帰へ～



外来受診ができ、
少しずつ外出ができるようになり、家で落ち着
着いた生活を送れるようになったヨシコさん。
しかし、

**1度中断したデイサービスへ夫も不安もあり、
社会参加（DS）へと踏み出せない・・・**



- ・ また同じことにならないだろうか・・・
- ・ 対応してもらえるところはあるか・・・

とても不安！

社会参加 ～気をつけたいこと～

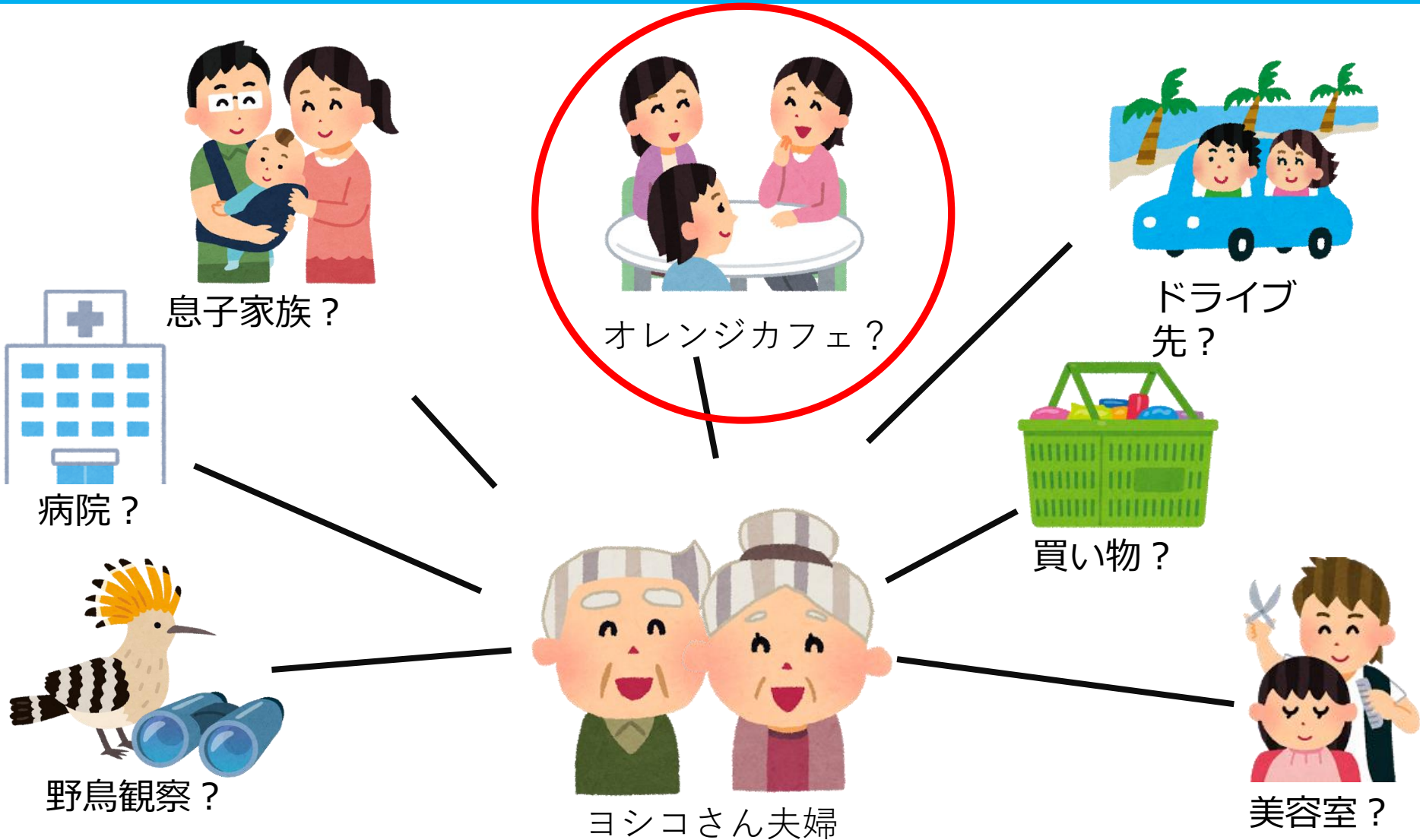


新しいサービス？

デイサービスなど新たなサービスは必要だけど・・・

社会参加 = まずデイサービスへ！
じゃなくてもいい

夫婦をつなぐ生活（地域）



つながる先はたくさんあります！

オレンジ（認知症）カフェ

認知症カフェ

⇒ 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場

- 新オレンジプラン 7つの柱の1つ
「4.認知症の人の介護者への支援」の主な政策
- 内容：高齢化の進展に伴って認知症の人が増えていくことが見込まれる中、認知症の人の介護者への支援を行うことが認知症の人の生活の質の改善にも繋がるとの観点に立って、介護者の精神的身体的負担を軽減する観点からの支援や介護者の生活と介護の両立を支援する取組を推進します。

オレンジ（認知症）カフェの現状

普及の現状

- ・ 山梨県では、ここ1～2年で急激に増加傾向？

運営主体

- ・ 多いのは地域包括支援センター：全体33.9%
- ・ ボランティア団体：全体22.7%
- ・ その他：キャラバンメイト、ケアマネ、事業所など

開催頻度と時間

- ・ 月1回全体76.8% ほぼ毎日：全体0.7%
- ・ 120分全体54.5% 長時間なところは9時間も！

内容

- ・ カフェタイム：87.6% 介護相談：70%
- ・ アクティビティー63.1%

オレンジカフェでの支援

～例）中央市のオレンジカフェ～

- 中央市主催 第4金曜日 100円
 - 保健師や市のボランティアが運営
 - オープン、出入り自由、家族だけでもOK
 - 若年性～高齢者、聴覚障害者
-
- 医大看護師からの困難事例の相談・経過報告
 - 家族への作業療法の説明や実際の対応の相談
 - 保健師からの相談
 - ケアマネージャーとの打ち合わせ（プチ担会）



ヨシコさん夫婦の場合・・・



繋がれる場所・人から関わってみよう

地域へ出る！その一歩のための支援

- つながる先（コミュニティー）の把握
 - ヨシコさん夫婦が人生歴を把握した上で、今の生活の中で、友人やカフェなど今の生活リズム・範囲の中で関わりやすいコミュニティーをOTがまず知る（過去の関わってた先も知る）
- 作業療法士以外の登場人物
 - 同じ境遇の介護者やDSスタッフなど、本人・夫が関われそう、関わっていた方に情報を伝える
- 作業療法士が関係作りのきっかけ
 - 訪問と同様に、集団の中でのコミュニケーションの取り方や不安・興奮が出ても大丈夫と思えるよう周囲への理解や関係作りの補助

ポイント！一緒に楽しむつもりで！

オレンジカフェへの参加

オレンジカフェ（コミュニティー）
で過ごす経験

OT

他者との交流の支援

少しずつカフェに慣れ、
様々な人と交流できる



安心

- ・ 夫が自身の介護について
他の方に伝えれる

→夫婦ともに安心できる場

オレンジカフェから次の社会参加(DS)へ

OT

CMと一緒に参加



前みたいにDSに通えたらいいな

CM

DSに通えるかも？

OT・CM

DSスタッフと一緒に参加

・ CM、DSスタッフが現在のヨシコさんへの
関わり方など理解

→ 夫婦とのつながりを再構築

デイサービス利用の検討

他家族との交流



少しずつ慣れれば、外に出て行く
こともできるかも？

DSスタッフとの関わり



デイサービスも大丈夫かな



その場で作戦会議！



まず**短時間**からDSの参加へ！

オレンジカフェ + DSへ

社会参加のために・・・

- ・ 夫婦のみ生活では解決しにくい
- ・ 悪循環に戻る可能性がある



・ 自宅での生活
・ 夫婦のみの生活
から離れたコミュニティでの経験



当事者や夫婦の理解
コミュニティの把握

ヨシコさん夫婦や家族との
「つながり」を1つでも作る・関わる



安心 や 自信



社会参加～地域での繋がり～



無尽会



お茶会



ボランティア活動



スポーツ



家族



旅行・外出



地域の方



買い物



病院

オレンジカフェでの支援のまとめ

ヨシコさん夫婦が第一歩を踏み出すために

- ヨシコさん夫婦つながっている場を把握しておくことで、『これから』につながれる準備をする
 - 作業療法士自身も1人にならず関われる関係者に登場してもらう
 - ヨシコさん夫婦の参加できる活動や場が1つでもできるような支援

